

事務事業名	厚生事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	総務調整係	染谷 広幸

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		医療	
	めざす姿		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている	
根拠法令	名 称	地方公営企業法		
		医療法		
		地方公務員法		
当該事業の法令等による義務付けの有無			有	
事務事業の期間	事業開始年度 昭和33年度		事業終了（予定）年度	事業期間 設定無し

2. 事務事業の概要

対 象		総事業費（単位：千円）			
病院職員			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
		事業費	803,416	843,105	928,544
		人件費	36,528	30,120	34,136
目 的		総事業費	839,944	873,225	962,680
職員が意欲的に働ける環境を整え人材確保と定着を図ることで、安定した医療提供体制を維持し、市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たすことを目指します。	手段、手法【実施手法：直営】	8年度事業費（予算額）財源内訳			
			国支出金		0
			県支出金		0
			市債		0
			その他		928,544
			一般財源		0
			合 計		928,544
		3. 活動内容			
		活動指標1	名称	託児室の収支改善額	単位 千円
			内容説明	託児室事業収益－託児室事業費	
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	△40,000
				実 績	△47,155
成 果（効果・予測）	・福利厚生が整うことで人材確保及び職員の定着が図れます。 ・各種社会保険料の支払いや共済組合福祉事業に係る事務などを適切に遂行します。 ・職員健康診断やストレスチェック検査を実施します。 ・医療職員の専門研修や研究を支援します。 ・院内託児室を運営します。 ・例月の給与等支払いを適正に行います。	活動指標2	名称	宿舍借り入れ事業の収支改善額	単位 千円
			内容説明	職員宿舍使用料－医師住宅・看護師宿舍借上げ料	
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	△33,300
				実 績	△33,360
		活動指標3	名称		単位
			内容説明		
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	
課 題	・常勤及び会計年度任用職員の医師の多様な勤務形態に応じた給与等支払い業務について、効率的な方法を検討する必要があります。 ・託児室の適正な運営について、検討する必要があります。	活動指標4	名称		単位
			内容説明		
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	
		活動指標5	名称		単位
			内容説明		
			指標値	6年度	7年度（当該年度）
				予 定	
				実 績	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	利用状況を見極め、職員宿舍を令和6年度より一時休止しています。また、託児室については、令和8年度中に託児室の適正な運営方法や将来的な移転先も含めて検討することとします。引き続き、経済的かつ効率的に医療職が働きやすい環境を整備するため、業務の運用方法や委託化について検討します。					

事務事業名	施設維持管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	施設用度係	染谷 広幸

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		医療		
	めざす姿		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法			
		地方公営企業法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和33年度				設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費（単位：千円）			
病院の施設全般		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	1,592,913	0	0
	人件費	24,993	26,104	0
目 的	総事業費	1,617,906	26,104	0
病院施設を適正に管理することで、安定した医療提供体制を維持し、市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たすことを目指します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・計画に基づいた適正な施設の維持管理、修繕を行います。 ・競争原理を生かした入札手法により、経費を削減します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
		県支出金		0
		市債		0
		その他		0
		一般財源		0
		合 計		0

活動指標1	名称	施設、設備にかかる経費			単位	千円
	内容説明	施設、設備を適正に維持、管理します。				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	832,528	794,747	743,450	
		実 績	810,546	705,055	―――	
活動指標2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	
活動指標4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			―――	

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	病院建物については、竣工後33年が経過し、施設の老朽化対策の緊急度が総じて増している中で、経営状況等を総合的に勘案しながら施設保全の優先順位を見極め、長期的に解決すべき事案と日常の保守で延命できる事案とを判断して対応します。					

事務事業名	施設整備事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	施設用度係	染谷 広幸

1. 位置づけ・事務事業の期間					
総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち		
	施策分野		医療		
	めざす姿		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている		
根拠法令	名 称	医療法			
		地方公営企業法			
当該事業の法令等による義務付けの有無		有			
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度		事業期間
	昭和33年度				設定無し

2. 事務事業の概要						
対 象		総事業費 (単位：千円)				
病院の医療機器等			6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）	
		事業費	1,040,132	0	0	
		人件費	17,303	18,072	0	
目 的		総事業費	1,057,435	18,072	0	
計画的な医療機器等の購入等により、急性期や救急医療等に対応できる医療環境を整備し、市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たすことを目指します。 手段、手法【実施手法：直営】 ・計画に基づいた医療機器等の整備を行います。 ・競争性を踏まえた調達により、経費を抑えた医療機器等の導入を図ります。		8年度事業費（予算額）財源内訳				
		国支出金		0		
		県支出金		0		
		市債		0		
		その他		0		
		一般財源		0		
		合 計		0		
		3. 活動内容				
活動指標 1	名称	医療機器等の整備			単位	千円
	内容説明	適正な予定価格の設定を行い経費の削減を図ります。				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定	383,333	1,135,797	199,000	
		実 績	370,879	1,073,243	――	
活動指標 2	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 3	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
活動指標 4	名称				単位	
	内容説明					
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度	
		予 定				
		実 績			――	
課 題						
・医療機器等の適正な稼働を保持するためには、ある程度の費用が必要となります。（高度医療機器とその保守） ・医療機器等の保守については、フルメンテナンスが有利なもの、と、スポット対応が可能なものを精査し、有利な契約方法について検討します。						

4. 今後の方針等						
今後の方針等	5年度	I：現状のまま継続	6年度	I：現状のまま継続	7年度	I：現状のまま継続
	経年劣化による医療機器等の更新と新技術を有する医療機器等の導入の双方を見極め、病院機能を維持します。なお、医療機器等の購入に関しては、引き続き、条件付一般競争入札による適正な競争を促し、費用削減に努めます。					

事務事業名	人事管理事業			
事務事業担当	部 名	課 名	担当名	責任者
	市立病院事務局	病院総務課	総務調整係	染谷 広幸

1. 位置づけ・事務事業の期間

総合計画体系	将来都市像実現に向けた目標		いつまでもみんなが元気でいられるまち	
	施策分野		医療	
	めざす姿		市立病院が地域の基幹病院としての役割を果たしている	
根拠法令	名 称	地方公営企業法		
		医療法		
		地方公務員法		
当該事業の法令等による義務付けの有無			有	
事務事業の期間	事業開始年度		事業終了（予定）年度	事業期間
	昭和33年度			設定無し

2. 事務事業の概要

対 象	総事業費 (単位：千円)			
病院職員及び病院職員として任用を希望する者		6年度（決算額）	7年度（決算額）	8年度（予算額）
	事業費	41,413	43,996	48,025
	人件費	36,528	30,120	34,136
目 的	総事業費	77,941	74,116	82,161
病院事業に必要な人員確保と適切な配置により、急性期や救急医療等に対応できる体制を整備し、市立病院が地域の基幹病院として役割を果たすことを目指します。	8年度事業費（予算額）財源内訳			
		国支出金		0
手段、手法【実施手法：直営】 ・職員定数管理を行います。 ・職員の採用・退職に係る事務を行います。 ・職員の処遇管理を行います。 ・労働時間の短縮等、勤務環境整備のための取り組みを促進します。		県支出金		0
		市債		0
		その他		48,025
		一般財源		0
		合 計		48,025

3. 活動内容

活動指標1	名称	医師の充足数		単位	人
	内容説明	各診療科で必要と思われる医師数			
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定	92	94	95
		実 績	89	93	――
活動指標2	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標3	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――
活動指標4	名称			単位	
	内容説明				
	指標値		6年度	7年度（当該年度）	8年度
		予 定			
		実 績			――

4. 今後の方針等

今後の方針等	5年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	6年度	Ⅱ：見直しのうえで継続	7年度	Ⅱ：見直しのうえで継続
	病院の収益改善に向け、適正な要員数について検討します。併せて、定数の上限について検証・検討を進めていきます。また、病院事業の根幹は人材の確保にあることから、働き方改革や業務の見直し、適正な人員配置、手当等の見直し等、勤務環境の整備および収益改善に向けた取組を実施していきます。					